



お母さんの
命を守る
キャンペーン

2009年6月20日（土）発行
国連人口基金東京事務所
キャンペーンリリース No. 2

「お母さんの命を守るキャンペーン」 6月22日より キャンペーンサイトでサポーター登録を開始

国連人口基金（UNFPA）東京事務所は、2009年6月22日から2010年7月11日の「世界人口デー」までの約1年間、「お母さんの命を守るキャンペーン」を日本国内で実施します。

キャンペーンの目的は、世界のお母さんが置かれている現状について **1人でも多くの人に知って頂くこと**です。期間中には、「お母さんの命を守るキャンペーン」サイトでは、様々なシンポジウムや講演会などの関連情報や、キャンペーンに対する寄付についてお知らせしています。さらに、キャンペーンに賛同するサポーターになって頂くよう呼びかけ、10万人のサポーター登録を目指しています。

キャンペーンには、すでに有森裕子さんや茂木健一郎さん、みのもんださんなど各界で活躍する著名人の方々にもサポーターになって頂いています。（詳細は次ページ参照）

キャンペーンのサポーター登録は、**6月22日（月）正午に開設されるキャンペーンサイト（www.unfpa.or.jp/mothers/）で受付を開始します。**お名前やメールアドレスなどを入力するだけで、**どなたでもサポーターとして登録**できます（登録料なし）。

＜サポーターになるには＞

- ステップ1：まずは、「お母さんの命を守るキャンペーン」サイト(www.unfpa.or.jp/mothers/)へ
- ステップ2：サポーター登録ページで、お名前、メールアドレスなど個人情報の入力
- ステップ3：2営業日以内に、サポーターとして登録されます。

＜サポーターになったら＞

- ご希望された方のお名前は、キャンペーンサイト上のサポーターリストに掲載されます。
- 定期的にイベント情報やキャンペーンの報告などのお知らせをメールでお届けします。
- キャンペーン終了時に、サポーターリストは日本政府に提出され、より多くの政府開発援助（ODA）がお母さんの命を守る活動に向けられるよう役立てられます。

- 【キャンペーンに関するお問い合わせ】
- 国連人口基金（UNFPA）東京事務所（担当：山本・上野）
- 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 7 階
- TEL：03-5467-4684 / FAX：03-5467-8556
- E-mail：tokyo.office@unfpa.or.jp / www.unfpa.or.jp



「お母さんの命を守るキャンペーン」サポーター

(敬称略・五十音順)



有森 裕子

国連人口基金親善大使

オリンピックマラソンメダリスト



岩田 喜美枝

(株)資生堂代表取締役副社長



加藤 タキ

コーディネーター



喜多 悦子

九州日赤国際看護大学学長



千 玄室

(財)日本国際連合協会 会長

裏千家第15代家元



ダ・カーボ

歌手



高畑 淳子

女優



武田 鉄矢

海援隊・俳優



永峰 好美

(株)プランタン銀座取締役



原 ひろ子

女性と健康ネットワーク代表



坂東 眞理子

昭和女子大学学長
「女性の品格」筆者



樋口 恵子

NPO 高齢社会をよくする女性の会
代表



松永 真

グラフィックデザイナー



みのもんた

司会者



茂木健一郎

脳科学者



渡辺 真理

フリーアナウンサー

【キャンペーンに関するお問い合わせ】

国連人口基金 (UNFPA) 東京事務所 (担当: 山本・上野)
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学ビル 7 階
TEL : 03-5467-4684 / FAX : 03-5467-8556
E-mail : tokyo.office@unfpa.or.jp / www.unfpa.or.jp